

# 建設防災 ボランティアニュース 第 55 号

目次

- ・ 建設局初動対応訓練
- ・ 都技監による感謝の会開催
- ・ 事務所との意見交換会報告

## 建設局初動対応訓練に参加

平成 26 年度建設局初動対応訓練が、2 月 9 日(月)の 7 時から 12 時まで、建設局本庁及び各建設事務所・公園緑地事務所の連携のもと実施されました。今年度は、職員の災害発生時における対応能力の向上を図るとともに、改定された震災対策の手引きを踏まえた訓練でした。建設局からの協力依頼に基づき、各事務所班から合計 84 名の協会員が訓練に参加しました。

続き、7 時 30 分から参集訓練、9 時からは本部運営訓練が行われました。

当日の天気は晴れでしたが、訓練が始まる頃には気温が 2 度前後と厳しい条件の中、早朝の徒歩参集訓練や被災点検訓練に加え、今年は作戦班にも加わり熱心に取り組みました。

訓練当日に向けて事前調整していただいた各班のリーダー、サブリーダーの皆様、訓練にご参加いただいた会員の方々、そして一緒に活動していただきました事務所の皆様に感謝申し上げます。

担当理事 久保田元久

### 職員が一丸となって！ ～二建班～

今年度の二建初動対応訓練には、防災ボランティアから、倭文、柳川、野村、岩井、船山の 5 名が応急対策班の現場点検担当として参加しました。

9 時半頃に庁舎に参集した時には、応急対策班の部屋では、早出班と遅出班の交代引継ぎがほぼ完了し、両班が 10 時以降の訓練開始に備えて待機しているところでした。

今年度は、庁舎のスペースの関係上、応急対策班の部屋が作戦班とは異なる階に配置されたため、応急対策班には作戦班の動きがリアルタイムで伝わらず、情報連絡職員によって出動指示のみが伝えられ、待機中は二建全体の訓練の進捗状況がほとんど分かりませんでした。訓練とはいえ、作戦班と応急対策班は、迅速で正確な情報の共有と緊密な連携が必要なため、なるべく同一の部屋か隣接した部屋に配置する必要があるのではと感じました。

事務所	参加者	事務所	参加者
一建班	7 名	西建班	8 (3) 名
二建班	5 名	南東建班	10 名
三建班	9 (4) 名	南西建班	8 (3) 名
四建班	11 名	北南建班	5 名
五建班	4 名	北北建班	4 (4) 名
六建班	7 名	東部公園班	3 名
		西部公園班	3 名
合 計	84 (14) 名		

( )内：参集訓練参加者内書

今年の訓練のポイントは以下の 3 つです。

- ① 安否確認サービスの活用
- ② WEB 会議システムの活用
- ③ 災対法改正を意識した被害状況の設定

このうち①安否確認サービスの活用は、昨年度から導入したもので、災害時に自動配信される URL 付きメールからログインし、アンケートに回答することで安否報告を行うものです。

当日午前 7 時に東京湾北部を震源とする大規模地震(マグニチュード 7.3、震度 6 弱以上)が発生し、都内で広域的な被害が発生しているとの想定に基づき、7 時からの安否確認訓練に

防災ボランティアは、現職職員とともに3つの現場点検グループに分かれ、立会川の被害状況、鮫洲大山線の復旧状況ならびに池上通りの被害状況を確認し、それぞれMCA無線、レスナビ及び携帯防災無線で状況報告を行いました。携帯防災無線の訓練では残念ながらうまく交信できなかったグループもあり、事前の機器点検と操作研修をいっそう徹底することが必要であるように思いました。

しかしながら、総体としては、この冬一番の寒さの中、二建職員が緊張感を持ちながら一丸となって、滞りなく初動対応訓練を終えることができました。いざという時に備え、より現実に則した実戦的な訓練と改善を地道に重ねていくことの重要性を改めて感じました。



田中所長、大野副所長と岩井、倭文  
野村、柳川、船山会員

二建班 船山吉久

### 災害対策の重要性を自覚 ～北北建班～

北北建の初動訓練には、協会から藤井、野村、吉原、林の4名の会員が参加しました。事務所との事前の打合せには野村会員が出席し、当日の行動計画、役割分担等を調整しました。

当日は昨年と同様10時からの引継ぎ訓練に参加のため、電車、徒歩により9時30分までに全員が事務所に集合しました。訓練では、作戦班道路担当に林、河川担当に藤井、応急対策班に野村、吉原の会員が配置されました。

訓練は、藤田本部長の下、各班長の適切な指揮に従い順調に進行され、11時50分に終了しました。



藤田所長、石内副所長と野村、林、藤井、吉原会員

昨年の広島市を襲った豪雨土砂災害を始め、国の内外での事件、事象が様々に次々と発生し、人々は驚き、追われている気がしています。そうした中で4年目を迎える東日本大震災3.11の記憶が遠くへ薄れていく感があり、改めて首都圏の災害対策の重要性を自覚しました。

訓練後、参加会員全員が所長室でお茶の接遇をいただき、懇談の機会を設けていただきました。今回の訓練に際して藤田所長をはじめ北北建の皆様からの様々なご配慮に感謝申し上げます。

北北建班 林 銑太郎

### 通信手段の検討を ～西部公園班～

西部公園は3人が参加の予定でしたが、一人が風邪気味のため急遽欠席し、二人のみの参加となりました。



伊藤、篠原会員

篠原会員は近距離のため参集訓練から参加し、応急対策班として公園内の現場点検を行い

帰庁しました。その間に伊藤会員は交代要員として自宅を出発。途中緊急車二台と遭遇し、緊張感が増しました。

10時に引き継ぎの後、継続の篠原会員と共に現場点検に出動しました。連絡手段は携帯電話ですが、篠原会員と「緊急時には携帯では役に立たないかもしれないね」と話しながら行きました。途中公園施設の不具合を発見し、管理センターに報告するというおまけができました。現場撮影用のデジカメを持参していたので、不具合箇所を撮影するなど実際に応用できる訓練が出来たと思います。

帰庁後の総括において判明したことは、現地本部と建設局本部との間で防災無線によるFAXの不具合があり、何度送信しても局本部で受信できないというトラブルがあったそうです。これについては反省点として音声通信が出来るのだから、音声でも状況を送ればいけないかという意見がありました。またこのトラブルは去年もあったようで、局の対応が望まれます。

さらに携帯使用の問題点も提示したところ、別の点検班ではMCA無線がつながりにくかったと陳述しておりました。樹木も多いため、場所によっては通信が遮られることもあり、普段での訓練が必要かと思えます。公園内の点検は比較的近距離なので、徒歩でも連絡は可能ですが、通信手段などについての再検討が必要なのではないかと感じました。

最後はアルファ化米の五目ご飯をいただき解散しました。

西部公園班 伊藤精美

### **興味深い被害想定箇所** ～北南建班～

北南建班の初動対応訓練は、柿塚、内山、新川、池田、舛原の5人の会員が、総務班、道路班、河川班に分かれて、午前9時から参加する

こととした。本来は前半からの出動ではなく、10時以降の後半からの出動を要請されたが、両方を体験して防災訓練の検証をした。



### **池田、新川、内山、舛原、柿塚会員**

防災訓練の意味は、大震災に際し、組織化され防災班の機能が円滑に動くことが大切で、そのためには継続的な訓練が必要となっている。北多摩南部建設事務所としては、過去に多摩川の狛江市二ガ領堰の決壊などで防災訓練と同じ光景を経験している。

今回の訓練では、事務所で通常の業務を遂行する職員と、訓練参加の職員が一体となって作業している姿が、多摩川水害の時と同じであった。訓練に参加している職員は当然としても、参加しない職員も一体となった事務所運営が出来ていると思える。

建設事務所は何かあると一体となって動くのが通常であるが、危機管理でもそれが基本であり、防災訓練を通じて、日ごろからそのような組織を作ることが求められている。

今回の訓練における想定被災箇所の選定について論評してみることにする。

道路一① 府中町田線・府中市本町2丁目陸橋  
本宿トンネルやJR南武線の横断橋梁があることから、都道に関連したJR施設の点検も兼ねた地点選定となっていた。

道路一② 新宿国立線・府中市栄町3丁目  
JR武蔵野線の立体交差箇所にあつて擁壁の点検に加えて、立体交差の目視確認などが



可能な箇所選定となっていた。

道路—③ 武蔵野調布線・三鷹市下連雀4丁目

三鷹事件の碑や森鷗外、太宰治の墓のある禅林寺が付近にある箇所で、八幡前交差点には仙川分水路が地下河川として整備されており、道路だけでなく河川の確認も可能な箇所となっていた。

河川—② 野川・小金井市前原3丁目

都道の小金井街道に架る橋梁の下流側であり、都道の点検も含めた対応が可能となっているなど、なかなか意味深い箇所を選定していたと思う。

惜しむらくは、道路—①の点検の際か、もしくは新たにでも、当該区間の南側にある急傾斜地の点検も選定に入れると良かったと思った。管内では都道沿いの急傾斜地は少ないが、多摩川段丘や国分寺段丘などの傾斜地を抱えていることから、これらの点検についても入れておく良かったかなと思っている。

それにしても、寒い中の訓練ではあったが、緊張感のある防災訓練となったと思います。

北南建班 新川 彰

## 公園の樹木が都道に！～東部公園班～

東部公園班3名（角田、佐藤、小林）は、午前10時より訓練に参加した。3名は応急対策班長梶原さんから「点検ルート及び被害箇所位置図」、「点検箇所チェック」等の説明を受けた後、MCA無線機、写真機を携帯し、恩賜上野公園不忍池畔にある「下町風俗資料館」付近の被害箇所に、公園内を巡回しながら向かった。

現場では被害状況を確認し、MCA無線機により事務所本部に被害内容（付近の大木が倒れ、不忍通りの歩道部と車道の一部を塞いでいる。）と応急対策（管理所のカラーコーンとバーで周辺を立ち入り禁止とし、協力業者・六建・上野警察など関係機関に連絡。）を報告し

た。その後事務所に戻り、正式に被害状況報告を行った。



細岡所長と佐藤、角田、小林会員

最後に所長から災害時における公園の役割がより重要になるとのお話などの講評を受け、また非常用食料を試食して訓練を終了した。

東部公園班 小林和雄

## 各事務所班の活動

### 一建班



三浦課長、安部所長、秋元副所長と古川、佐野多澤、新井、藤田、平田、中島会員

### 五建班



伊佐所長、黒崎副所長と青木、阿部、林、萩原会員

### 三建班



東野所長、橋本管理課長、根津補修課長と井出、勝田  
佐々木、小川、瀧澤、小川、中川山形、柳川会員

### 西建班



村井所長と河合、高橋、田中、佐藤、谷村  
稗田、橋本会員

### 四建班



荒井所長、佐野副所長と小山、小柴、丸山、平野  
伊藤、新井、加藤、戸張、遠藤、黒淵会員

### 南東建班



中村所長、望月副所長、黒沢課長、塚田課長  
植木課長、古橋課長と丸岡、織田、武内、植杉  
佐々木、杉本、矢内、原田、柴田会員

### 六建班



渡辺所長、齋藤副所長と荒川、横山、熊谷  
高杉、阿久津、浅田、遠藤会員

### 南西建班



松浦所長、砂田副所長と高橋、中込、老沼  
矢野、堀内、吉田、井上、林会員



## 東京都技監による感謝の会開催

今年も、都技監主催による当協会への「感謝の会」が、1月16日都庁にて開催されました。横溝都技監、鈴木次長、邊見道路監をはじめ本庁各部長、各事務所・センター長などの主要メンバーに出席いただきました。当協会からは杉浦会長をはじめ76名の会員が参加しました。

雲田総務課長の司会により開会し、最初に横溝都技監から、年間を通して防災訓練など各行事への参加・活動に対する御礼がありました。続いて、来年度の局予算が5,500億円と10年前のレベルまで増加したこと、局事業が都政の枢要となり長期ビジョンに殆ど反映されたことが紹介されました。そして、昨今の河川・道路・公園事業トピックスの紹介があり、東京オリンピックはもとより、その後も盛り沢山の事業が継続する活力みなぎる局の姿が、参加者一同に深く伝わりました。



横溝都技監挨拶

杉浦会長挨拶

次に杉浦会長から、感謝の会開催に対する都技監・幹部等への御礼を申し上げました。また、東京オリンピックとともに防災への手厚い予算措置を歓迎し、当会の高齢化の進展があるものの、現役時代と変わらぬ熱意をもって活動していく旨などをお伝えしました。

続いて鈴木次長の乾杯の発声があり、懇親会は終始、会場津々浦々にて、和やかな雰囲気の中

中で意義ある意見交換が行われました。



和やかな懇親会

最後に限りある時間が迫る中、邊見道路監の挨拶・締めにより、閉会となりました。改めて都技監・局幹部等の皆様はもとより、裏方で苦勞された総務課の皆様には感謝します。

四建班 加藤昌宏

## 事務所との意見交換会盛ん

### 災害に強い道路整備を願う ～西建班～

11月12日(水)に西多摩建設事務所管内の現場視察と意見交換会を実施しました。参加者は小山(弘)、小山(幸)、佐藤、清水、高橋、谷貝、谷村の会員7名で、懇親会には河合会員も駆けつけてくれました。

視察場所は、整備が計画されている秋川南岸道路第一工区(檜原村下元郷～あきる野市乙津区間)、急傾斜地事業個所の檜原村藤原地区、橋梁整備事業個所の檜原村本宿です。

昨年2月には、東京も二度にわたる大雪に見舞われ、奥多摩、檜原の山間部では1mを超える積雪で通行止めとなり、集落が孤立し住民に多大な被害をもたらしました。西建ではこうした雪害をはじめ、集中豪雨や地震などの災害に伴うがけ崩れや道路寸断などの被害を未然に防ぎ、道路機能を確保する目的で、多摩川南岸道路、秋川南岸道路の整備を進めています。このうち多摩川南岸道路の城山工区2.8Kmは来春開通が予定されています。

秋川南岸道路も計画が着々と進められてお

り、檜原村役場に通じる第一工区のバイパス区間 700m の現場を視察しました。現都道は蛇行する秋川に沿って並行して走り、狭い道路の山側は切り立った崖となっています。またこの区間は連続降雨量が 140 mm を超えると崖崩れの恐れがあるため通行止めとなる区間です。新たなバイパスは秋川を橋梁で渡り、即トンネル坑口となり、トンネルを出ると再び秋川を渡り現道の檜原街道に接続する計画となっています。深い秋川溪谷を渡る二つの橋梁区間とトンネル区間が連続するため、工事に向けて様々な検討が進められています。

次に向かった急傾斜地の現場は、平成 19 年に総雨量 441 mm を記録した台風 19 号により、幅 90m、高さ 110m、平均深度 2m の規模で崩落した藤原地区です。この地区は、檜原村役場を過ぎて、北秋川に沿って遡った一番奥の集落にあります。平成 19 年度から法枠工、アンカー工などの工事が進められ、平成 28 年度完成を目指しています。斜面長は 150m、平均斜度 40° 以上もある長大法面です。斜面の下には、藤原地区の避難所となる藤倉ドームや民家 7 戸があり、檜原村と費用負担協定を締結して事業が進められています。



橋梁整備現場（本宿）で説明を受ける会員

次の橋梁整備個所の本宿は、檜原村役場から南へ 300m ほど奥多摩周遊道路方面に進んだところにあります。平成 3 年から事業着手しましたが、斜面の安全対策や財政上の理由から一時事業を中断し、その後、秋川を 4 回渡河するル

ートに変更し、平成 18 年度から事業を再開しています。平成 25、26 年度に RC アーチ橋の 4 号橋を発注しましたが、いずれも入札不調となり苦慮しているとのことでした。

事務所に戻り、村井所長はじめ西建全管理職と参加メンバー 7 名との意見交換会を実施しました。

西建班からは、ボランティア協会の設立の経緯と目的、防災訓練等への参加・協力などの事業内容を改めて説明するとともに、次の内容を西多摩建設事務所にお願ひしました。

先の大雪による豪雪被害や昨今の異常降雨による伊豆大島や広島市に見られる土砂災害の頻繁な発生、あるいは近い将来発生が懸念される首都直下地震などによるがけ崩れや道路寸断などの災害発生に対し、多摩川南岸道路、秋川南岸道路の整備推進を一層図っていただくこと。

更に、多摩川南岸道路から先の山梨県丹波山村に至る区間は、小河内ダム建設当時に造られた 5.5m 幅員の屈曲した道路線形となっており、大型車のすれ違いが困難な場所も多くあります。これらの地域では、土砂崩落等による通行止めもしばしば発生しており、災害時において重要な生命線としての機能を確保するとともに、地域の産業振興等にも資する災害に強い道路整備の推進をお願いしました。

村井所長からは、奥多摩町・山梨県丹波山村・小菅村からも同様の趣旨の要望が連名で出されており、西建としても、引続き災害に強い道路整備を着実に進めていきたいとの説明がありました。

西建班 谷村秀樹

## 事業の成果が目に見える ～北南建班～

北多摩南部建設事務所職員と北南建班会員による意見交換会を 12 月 9 日に実施した。顧

間の柿塚さんを始め、リーダーの池田さん、小島さん、内山さん、舛原さんと私が参加した。

現在事業中の調布保谷線の三鷹市開通部分を車窓から見学し、西東京市の西武池袋線立体交差工事や都県境の現場を見学させていただいた。2014年度の開通を目指して急ピッチで工事が進められており、用地買収も困難地の契約など、所の総力を上げて進められており、目に見えて成果が出てきている。



#### 御案内いただいた北南建の方々と会員

調布保谷線の西東京市の現場は、畑が多く自然が残された地域を南北に通過する道路であるが、私が現職の時に環境アセスの地元説明会と都市計画決定を幅員 36m に変更した時の路線である。当時は、まだ西東京市ではなく保谷市であったが、地元了解を得るために何回も説明会を実施したことを思い出す。

西東京市は、東西道路が整備されていたにもかかわらず、南北道路がないため交通阻害区域となっていた。当該道路が完成すれば、埼玉県に向かう通行の利便性の向上や、練馬区の外郭環状道路入り口への通行、関越自動車道練馬インターへの通行の時間短縮にも寄与するなど、多摩地域の南北幹線 5 路線のうち、第 1 位の南北道路として機能が発揮されることとなる。西武新宿線の立体交差は既に開通し、今回の西武池袋線の立体交差工事の完成によって、調布保谷線の鉄道交差部は、すべて立体交差によって通過することになる。

その後、事務所に帰り、見学できなかった野

川の自然再生の第一次実施計画や第二次実施計画に向けた取り組みなどについて説明を受けた後、会員と管理職との意見交換が行われた。この野川の自然再生の場所は、小金井新橋の下流にあり、河川の愛護月間行事である「野川のちびっ子先生集まれ!」の会場となった場所であった。

席を変えて懇親会も行われ、防災ボランティア会員が協力できる初動対応訓練などへの参加をお願いして閉会となった。暮れのお忙しいなか谷本所長、寺内副所長を始めとして管理職の方々には、現場見学などでの丁寧な御説明に、参加者一同感謝しております。

北南建班 新川 彰

#### ※ 協会からのお知らせ ※

- ① 道路整備保全公社の白石ミキ子さんが3月に退職されました。我儘な年寄りの面倒を見ていただき、心より感謝いたします。後任が決まるまで玉置係長が対応していただけます。
- ② 各班の活動報告をお待ちしています。ぜひ下記編集担当理事又は林まで連絡願います。林アドレス([mikio.hayashi@okumuragumi.jp](mailto:mikio.hayashi@okumuragumi.jp))
- ③ 当協会のホームページアドレスは <http://tokyo-adv.info/> です。

発行人 杉浦 浩

発行 東京都建設防災ボランティア協会

新宿区西新宿 2-7-1

小田急第一生命ビル 20F

(公財)東京都道路整備保全公社内

編集 高橋 紀男、林 幹生

堀内 康彦、丸岡 敏夫

